

広袴便り

広 袴 町 内 会
会 報 第 16 号

発行日
平成 21 年 3 月 8 日

発行責任者
広 袴 町 内 会
上 杉 孝 三 郎



市民運動会

鶴

川地区市民運動会は、今年は九月二十八日(日)に野津田公園の市営競技場でおこなわれました。

天候に恵まれて、賑やかで楽しい一日を過ごすことができました。子ども会としては、大人五十一名・子ども四十九名・幼児十一名という多数のご参加を頂いて、まずは大成功の行事だったと思います。皆様方のご協力のたまものと心からお礼申しあげます。好天のなか、五十m走・百m走・物干しリレー・母子リレー・二人三脚リレーなどのトラック競技に健闘して盛り上がり、魚釣り競争・買い物競争・ボール運び・ゲートボール遊び・ウルトラクイズ大会などのレクリエーション種目に大笑いしながら頑張りあいました。最後の町内会対抗リレーで、各町内の声援はクライマックスに達し、快い興奮のうち、三時半に終了しました。皆様どうもありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。

【子ども会】 石山さわ子



市民運動会を終えて

今年の市民運動会は、暑くもなく寒くもない良い時期に天候に恵まれて、九月二十八日(日)野津田競技場で大会委員長荻野氏の開会宣言により始められました。

内容・結果については、紙面の都合で略しますが、怪我なく事故なく無事に終了し、それぞれの思い出を胸に、解散できたことに感謝しております。

「運動会に行きたいけれど足がない」ということを前から耳にしていました。自家用車・タクシーで行くのならともかく、定期バスで行こうとすると、とにかく不便なのです。

そこで試みとして、今年は町会としてバスを出すことを考えました。広袴会館から野津田競技場まで、送迎専用バスの運行です。やってみますと往路・復路とも約四十名の方に利用して頂き、その方々からは大いに好評を頂戴しました。この計画はまずは成功だったと受け取っていいと思います。この地区連合会主催の市民運動会は、町内会の年間行事として今後も取り組んで行きますので、皆様のご協力をお願いしたいと思います。

付記

運動会の起源は明治七年頃といわれ、当時は協調遊戯会と言われていたようです。そして社会へはそれほど拡がりは見せなかったようですが、四年後札幌農学校が「遊技会」を開くと、その影響で北海道の小中学校に広まっていったといえます。その後



「運動会」の名で、教育機関や地域社会での体育行事として次第に定着したようです。
学校だけでなく地域社会の中でも、この「運動会」は、町内会員相互の融和、関連団体の連帯意識の高揚などの面で、存在意義を持つものと思われま

【文化部部长 本郷和朗】

作品展示会

広 袴町文化祭（作品展示会）の作品展示、陳列風景

十一月二日（日）、薄日の射すなか早くも九時前から、絵手紙指導の山野辺先生配下女性陣が、作品持参で続々と集結しました。あつけにとられ見ている中で、ハサミやセロテープを器用に使って、グループ作品をかなり控えめにまとめあげ、昨年と同じ壁面に掲出しました。

田邊さんの昨年同様の豪華絢爛たる押し絵、木下さん、中田さんの書、信定さん、福田さんの銅版画などの作品が次々と運び込まれ、文化部長、副部長の指示により、展示、吊り下げ場所が指定されました。

毛塚さん、石村さん、猪俣さん、新井さんなどの油絵を吊下げる金具が不足していることが分かり、久保田、夏目両副会長が急遽購入のため、飛び出して行きました。

その間に、垂水さん、山川さん、粕谷さんの陶芸作品が搬入、陳列されました。今年初めての展示品の真空管アンプは、K581などを是非鳴らしてみたいと思わせる風貌をしていました。

昨年から始まった作品展示会ですが、作品の応募受付から展示会の開催、無事に作品を返却するまでのご苦労には、頭の下がる思いでした。

【広報部】



クリーンアップデー

十一月三十日、平成二十年度 第二回「クリーンアップデー」が予定どおり実施されました。

当日は思ったほど寒くもなく、適度な気候の中、多数の参加者のご協力により、町内会としての清掃活動を実施することができました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

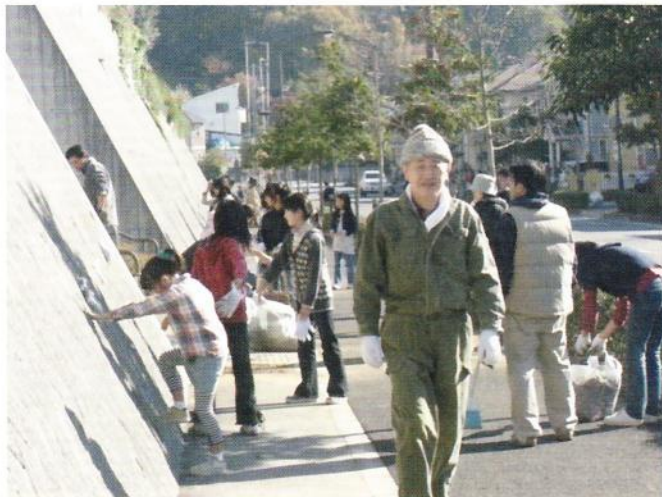
今回は、時期的なこともあり、道路や階段などの脇に溜まった枯葉の清掃がメインではなかったかと思っています。

クリーンアップデーは、環境美化はもとより、清掃活動を通じた近隣以外の方との交流の場でもあります。いざというときのために、顔を合わせておくだけでも意義はあるかと思っています。そのためには班長さんのご協力が不可欠となりますので、次回担当される方、よろしく願います。

また、他にも町内会としてのイベントがありますので、お子様連れで、ぜひとも積極的にご参加いただければと思います。

最後に、今回のクリーンアップデーは新たな委員のもとで実施することになりますが、きれいで安全な街づくりを進めるうえで、また町内会としての親睦も兼ねまして、今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【環境・衛生部】



自主防災歳末警戒

十二月二十九日（月）、三十日（火）の両日、毎年の恒例になっている自主防災歳末警戒を行いました。

二十九日は開始前の二十時頃に偶然にもお隣の能ヶ谷町の能ヶ谷神社で火災が発生し、広袴町内会館からでも火柱が見えるような大きな火災となりました。その後も大蔵町と火災が続いたこともあり、通常一回の巡回を急遽もう一度行うなどの緊張感のある歳末警戒となりました。

翌三十日は人数が少なかったこともあり、いつもの倍の範囲を回っていただきましたが、前日よりは和やかな歳末警戒となりました。

本年度は例年になく冬季の火災が多く、鶴川地区では年末から年始にかけて五件もの火災が発生しています。広袴町内では幸いにも火災は発生していませんが、鶴川六丁目では火災により亡くなった方も出ております。

各ご家庭内では、日頃の火の始末の確認や段ボールなど火をつけられそうなものを家の周りにおかない等の防火対策をお願いいたします。また東京都では来年の平成二十二年四月一日から火災警報機の設置が義務化されます。火災警報機は早期発見による火災の拡大防止になりますので、まだ付けられていないご家庭では早めの設置をお願いいたします。防犯につきましても、広袴町内でも不審者が出没し

ている情報もありますので、くれぐれもご注意ください。不審だと思った場合は躊躇せず一〇番への通報をお願いいたします。

最後に今回の歳末警戒は参加人数が昨年より少なかったのですが、両日とも天気に恵まれたため予定通りの歳末警戒の巡回が行われ、防災・防犯・交通部だけではなく、全班長さん、委員さん、消防後援会及び消防団の方々に協力いただき、何事もなく無事に終えることができました。年末のお忙しい時に参加いただいた方々には大変感謝しております。

【防災・防犯・交通部】



どんど焼き

の神・どんど焼き

賽

日時：平成二十一年一月十四日(水) 午後四時(点火)～六時

場所：広袴公園

お飾り集め(子ども会)：一月十一日(日) 午前九時～

準備(町内会・消防後援会)：一月十一日(日) 午前九時～

後片付け(町内会・消防後援会)：一月十五日(木) 午前九時～

風は風ぎ、晴天に恵まれた絶好のどんど焼き日和でした。冷え込んでいましたが、点火の時間前には既に七十名ほどが会場の広袴公園に集合し、待ちわびる子どもたちが元気に駆け回る姿も楽しく目に映りました。

堆く積まれたお飾りに代表の子供たちが松明で火をつけるとたちまち燃え広がり、赤いダルマを括りつけた尖塔に向かって天をも焦がす勢いで昇っていききました。書き初めをくべて上達を願う子どもたちの姿も見受けられました。青竹の爆ぜる大きな音に後ずさり耳を塞ぐ子どもたちも、どんど焼きの火から目が離せない様子でした。尖塔が落ち、火が小さくなるとそれぞれ用意してきた繭玉を火にかざします。子ども会からはお酒や子どもたちにお菓

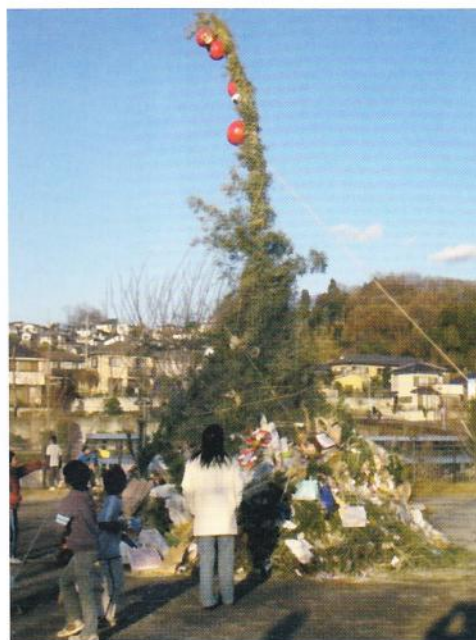
子が振舞われました。時間が経つにつれ人の数はどんどん増えて、最終的には百五十人くらいの参加をみたのではないのでしょうか？

恥ずかしながら小生がこの行事に参加したのは四十年以上も前。こちらに越して五年も経つのですが、小学生の子どももおりませんので、お飾りだけは回収していただくものの、一度も参加したことはありませんでした。まず高く組み上げられた塔の立派さに驚き、其々が手にした繭玉に伝統行事の楽しさを感じ心が浮き立つ思いがしました。なにかと不材料の多い昨今、このように地域の大人と子どもが協力して行う伝統行事はとても大切だと思います。今年参加できなかった皆さまも、ぜひ来年は足を運んでみませんか？

小生もすっかり大きくなった子どもを誘い、今度は繭玉を自作して参加したいと思います。

子ども会・町内会・消防後援会そして警察関係の皆さまのご尽力のおかげで、無事に行事を終えることができたことを、感謝申し上げます。ありがとうございました。

【広報部】



広袴・妙全院の六地藏

会

報十四号に広袴の石造文化財、庚申塔の紹介をさせて頂きましたが、もう一つ石造文化財を紹介したいと思います。町内の妙全院の山門をくぐると境内右手に石灯籠が目に入ります。燈籠の六角柱状の龕部には六体の地藏が彫られています。これは石幢（せきとう、せきどう）と呼ばれる形の六地藏です。



燈籠型の六地藏（正面）

傍らに六地藏尊供養記念碑と書かれた石碑が目につきます。それには、発願した三婦人や協力した人たちの名前、かつて石幢が参道の入り口にあつて、そこには松の大樹があつたこと、昭和六十二年建立百年を記念して石碑を建て、新しい松を植えたことなどが書かれています。（旧位置は現在地より百メートルほど東）石幢が最初に立てられたのは明治十六年ということですから、百二十五年ほど前のことです。

浮き彫りにされた六体の地藏は優美なお顔で、石工の確かな技術が感じられますが、残念なことところどころ破損があり、寄進された方達の名も大分欠落しています。これは礫岩という石の質によるもので、たぶん冬季の凍裂が主な原因ではないでしょうか。

正しい順番は知りませんが、正面と思われる像から右回りに、写真で紹介します。



2番



1番



5番



4番



3番



6 番

このような石幢形の六地藏は珍しく、私は小野路の万松寺や浅草の浅草寺で見たことがあります。六地藏は、赤い帽子とよだれ掛けをして、一体ずつ並べるのが多いようです。

ところで六地藏は、仏教の六道輪廻の思想にもとづくもので、この六道（りくどう、ろくどう）とは、次のような名前がつけられた六種類の迷いの世界のことだと言います。

天道（てんどう、天上道、天界道とも）

人間道（にんげんどう）

修羅道（しゅらどう）

畜生道（ちくしょうどう）

餓鬼道（がきどう）

地獄道（じごくどう）

それぞれの迷いの世界を救うのがこの六地藏だということです。六地藏の個々の名称については一定していないようです。



観泉寺の六地藏

右の写真は、真光寺町の観泉寺の六地藏ですが、台座の下に名前が書かれているので左から順に金剛願地藏、金剛宝地藏、金剛悲地藏、金剛幢地藏、放光王地藏、預天賀地藏ということが分かります。

また、別に地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人道、天道の順に檀陀（だんだ）地藏、宝珠地藏、宝印地藏、持地地藏、除蓋障（じよがいしょう）地藏、日光地藏と称する場合や、これらとは異なる名称の地藏もあるといわれています。像の形は合掌のほか、蓮華、錫杖、香炉、幢、数珠、宝珠などを持物としますが、持物の順序や呼称は必ずしも統一されていくわけではないようです。妙全院の例では3番が数珠、4番が合掌。観泉寺では1番が数珠、3番が合掌という具合です。

仏教では、貧欲・瞋恚（怒り）・愚痴の心を三毒といって、それを迷いの代表的のものとしています。その三毒を分解して、貧欲を『餓鬼道』、愚痴を『畜生道』で、瞋恚を『修羅道』と表すそうです。その上の階級が『人間界』人道』で、ここでは食欲・色欲・睡眠欲という動物的本能の他に名声・利欲の二欲を加えた五欲の世界があるそうです。更に、六道の最高位に『天上界』天道』がありますがこれも迷いの世界だといえます。これは他の五道ほどの生々しい欲望はないのですが、天人にも五衰の悲しみがあるなどといわれ、まだ悟りの世界には達していないそうです。

子供の頃、悪いことをすると死後に地獄に堕ちるとか、食べ物を粗末にすれば餓鬼道に堕ちるとか脅されましたが、ある高僧の話では、六忽忽道輪廻は死後の世界ではなく、心の状態として捉えるのだそうです。心の状態によって天道のような状態になったり、地獄のような状態になるということです。例えば一見お金持ちで何不自由なく恵まれて、天上界にいと良い気持ちでいても、何かのことで腹を立て喧嘩などすれば忽ち『修羅道』に、最悪の場合には『地獄道』に落ちると言うのです。

結局人間は真の悟りを開かなければ、この六道を出たり入ったりしているようです。真の悟りを得ることを解脱というそうですが、我々衆生には、とても遠い道のようにです。

リズム体操『せせらぎ』

体操祭りに参加!

平成十九年三月にサークルが発足してから早いもので一年が過ぎました。リズムに乗って体を動かすことにも少しずつ慣れて、日頃の活動の成果を発表する第十七回『2008まちだ体操祭』(三十二団体参加)に初出場することが出来るまでになりました。

今回は、市制五十周年記念協働事業として創作された『まち想い』の発表があり、とても盛り上がりしました。町田のオリジナル体操として育っていくように、と夢が広がります。「健康で年を重ねていきたい」という目的を持って寄り集い、汗を流した後は交流の場としてコミュニケーションも楽しいひとときです。いつでも飛び入り大歓迎、会場へお出掛け下さい。

会場 広袴会館

日時 毎週火曜日午後一時三十分より

(代表 武藤陽子 電話七三六―八五四一)

同好会・サークル・イベントのお知らせなど、会員のみなさまにご利用いただけるコーナーを設けることにいたしました。掲載ご希望の方はお気軽に広報部あるいは班長さんまで。

【広報部】



お知らせ

今回の「広袴便り」は、第十七号(平成二十一年五月下旬発行予定)です。

【広報部】

耳寄りなお話

旧白洲邸「武相荘」は準地元といっているところなので、それについての講演会があるということをお知らせします。

名称 町田市観光局新設記念 講演会

主題 「白洲次郎・正子について」

講師 白洲次郎・白洲正子の研究者

主催 町田市・町田観光協会

日時 三月二十日(金) 午後一時より

会場 町田市文化交流会館 JR町田駅南口

(成瀬寄りの出口)のそば

地元町内会・自治会

協賛 アトラクション

その他 能ヶ谷囃子連の囃子神楽

【広報部】



旧白洲邸「武相荘」



広報部長
副部長
編集人

金子欣三
井上好信
榎並利晃
吉田雅一
杉島健次
坂入清之
瀬口賢一
岡田光司
甲斐敬二